令和8年度　犬山市障害者自立支援協議会　医療的ケア児支援のためのワーキングチーム報告（令和8年8月31日時点）

《目　的》
医療的ケア児が適切な支援を受け、地域において安心して生活を営むことができるよう、医療、保健、福祉、保育、教育等の関係機関が地域の課題や対応策について、意見交換や情報共有を行う

《検討事項》
（1）医療的ケア児の支援に係る地域の課題及び対応策に関すること
（2）医療的ケア児の支援に係る関係機関等の連携の強化に関すること
（3）医療的ケア児の支援に係る関係機関相互の課題や情報の共有に関すること
（4）その他医療的ケア児の支援に必要な事項

内　容

○日　時　令和8年8月5日(水)10:00～12:00

○場　所　犬山市役所　5階　501・502会議室

○報　告　「医療的ケア児やその家族への支援」
「犬山市医療的ケア児支援ワーキングチーム課題整理報告書」
「医療的ケア児の把握・連携等の仕組みについて」
「就学支援にかかわるスケジュール」
「就学後の状況と支援について」

○議　題　(1)「医療的ケア児の就園・就学までの支援の流れ」
(2)今後の検討事項について

○参加者　22名

○確認事項
・就園から就学までの受け入れの基本フロー
・情報集約の窓口は障害者支援課（保健センター・学校等と連携）
・医療的ケア児の支援は「当事者（児）と家族をセットで支える」

○出された課題

(1)「医療的ケア児の就園・就学までの支援の流れ」

①制度的な支援（居宅介護の在り方・重度訪問の適用等）
・輸送手段や社会資源がないため、校外行事等に参加できない

②切れ目のない継続的な支援
・就学時の引継ぎ不足
・職員異動に伴う担当者間の引継ぎや学校内での情報共有及び研修の実施

(2)今後の検討事項について

①人材不足・人員配置
・看護師や重度ケアに対応できる事業所、短期入所受入施設が不足
・人工呼吸器等の受入に制約があり、短期レスパイトが確保できない

②家族（特に母親）の過重負担（ワンオペ問題）
・夜間・緊急時の支援体制が不十分で、家族の精神的・身体的疲弊が深刻

次回の課題

・ワーキングで出された多数の課題（優先度の高いものを抽出）をもとにテーマを絞って検討
・短期的に対応すべき項目と中長期で取り組む項目を分けて整理する
→「早期着手すべき課題」と「時間がかかる課題（継続的訴求事項）」の整理